

幕末外交の葉

(三) 早川成治
 九月、栗濱にて米の國書を受く。同日米船小柴沖に入り十一日羽田沖に入る。十二日去る。十五日、勅して伊勢神宮並に七社七寺に國家の寧靖を祈る。米人來るを以てなり。

七月
 十七日、五ヶ年の間尤も質素節儉を勤むべき旨達あり。同月同日より群星西方に出づ。同日魯水師提督フーチャン軍船四艘を以て長崎に來る。

十月
 此月蘭人に託して軍船並に兵器を求む。

十二月
 十五日、水戸侯大砲七十四挺を獻す。

廿七日、芝金杉より品川迄居民達あり次第急に退去すべき旨達あり。

廿八日、水戸老侯に年々米五千俵を賜ふ。

安政元年甲寅(一八五四年)一月
 十四日、米船七隻本牧沖に入る。ベルリ來る。

廿七日、神奈川に入る。二月五日一隻來る。

同廿一日、一隻來る。廿八日諸侯總登城あり米船の事を議するなりと云ふ。

十九日、下田、函館を開く。廿二日米船二隻下田に行く。廿六日米人に米を賜ふ。

此月、勅して七社七寺並に十二社に國家の寧靖を祈る。

三月
 三日、横濱にて米人と條約を結ぶ。

廿七日、元祿藩吉田寅次郎、澁木松三郎(金子重輔變名)を下田にて捕ふ。

四月
 此月品川一三三場成る。

五月
 十八日、晴天無風大阪城石垣崩る。

崩る。
 廿六日、米船總て下田を去る。
 六月
 十五日、五畿内勢尾地大に震ふ。
 七月
 五日、水戸老侯に軍制改革の事を命ず。
 六日、蘭人長崎にて西洋騒亂賣買の軍船無之旨上言す。

釜屋商店
 電話九・九九番

多田井質店
 債券・公債
 兩替・金融
 平市大工町 電話五九一

御料理
 むぎとろ
 さつぷり
 出前迅速
 平市紅小路 電話四八八

精神修養に...
 喜多流 白土會
 入會隨意 平市田町六九

女中さん
 至急数名入用
 御希望の御方は
 平市田町
割烹花村
 電話四番

御知らせ
 此の度東都名流美容師を招きまして、後女性に最も相應はしい永久性淑髮(パーマネント)を八月一日より始めます。
 ごうぞ御利用下さいませ。
 一、毛髪を傷めぬ高級薬品を使用致しまして充分御満足頂けるやう努力いたします。
 一料 金 毛先二五〇、全髮四〇〇
 御好みにより部分的におかけいたします。
 平市田町五(自宅電話六三八番)
研美院

エマールチ
 五十錠入 一〇〇特平
 百錠入 二〇〇市野
 徳用罐 約五丁邊
 五〇〇局藥

カリエス
 高血壓に特效
二葉滋器治療所
 平市大町 電話一九三番

銃後の名家計費引下に
 一日のサレスデーを
 ご利用下さい
平マーケット

祖先の靈を祀る
 お盆が近づきました。
佛壇塗位牌佛具類一式
 豊富に取揃へました。
 御盆の御用意は是非當店へ……
 平市三丁目
丸はん商店
 電話三五九番

謹啓 濟生院潤徳厚仁大居士の
 新盆に相當り候處時局に鑑み乍
 勝手提灯其他の供物等御贈與の
 儀固く御辭退申上候
 尙萬一御届け被下候とも乍失禮御受け致兼候
 に付右不惡御諒承願上候
 昭和十五年八月五日
 四倉町字新町
額賀誠

「旨い」一言にして盡く
神戸牛 すま焼
 相始め申候
 日本料理 山茶莊
 電話五二〇番

亡父千代吉新盆に相當り候處甚だ勝手間敷候得共時局柄提灯其他供物の儀一切御辭退申上候間不惡御諒承願上候
 昭和十五年八月
 平市田町
鈴木信雄

亡父鈴木光吉新盆に相當り候處提灯其他供物の儀は時節柄一切御辭退申上度不惡御諒承願上候
 昭和十五年八月
 平市鎌田町
鈴木定光

盆の御用意!!
 ◎故人の靈を祀るお盆が近づきました
 ◎祖先崇拜は家庭繁榮の礎
 佛壇、塗位牌、佛金具類等を豊富に取揃へました
 ◎値段ばかり安くても品質が粗末では勉強でありませぬ。安いだけでも店にはハリマセン
 盆の御用意は是非當店又は各支店へ
 平市四丁目(郵便局向ひ通)
山光堂 佛具造花問屋
 電話五五〇番
 石城郡四倉本町
 支店 博善社

謹啓 隆昌院大學玄道居士の新盆に相當り候處時局に鑑み乍勝手提灯其他の供物等御贈與の儀固く御辭退申上候
 尙萬一御届け被下候とも乍失禮御受け致兼候
 に付右不惡御諒承願上候
 昭和十五年八月五日
 四倉町新町
長谷川義雄